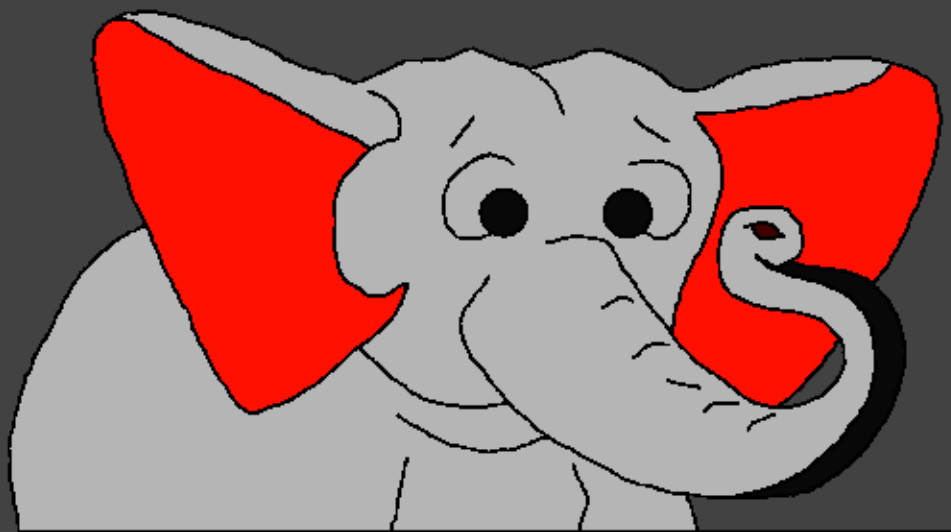
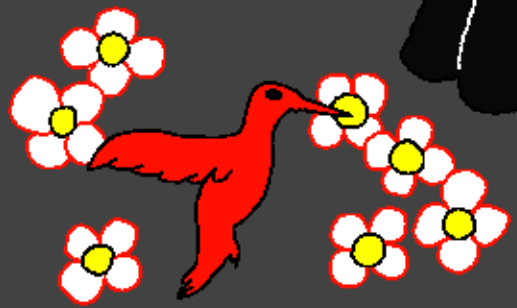
こども
子供のインターネットバイブル

あんない
案内いたします

かみ
神さまが、すべてのもの

とき
をつくられた時のこと





文：E. Duncan Hughes

絵：Byron Unger; Lazarus; Alastair P.

改作者：Bob Davies; Tammy S.

翻訳者：Yuko Kajiki
監修者：Dan Ellrick

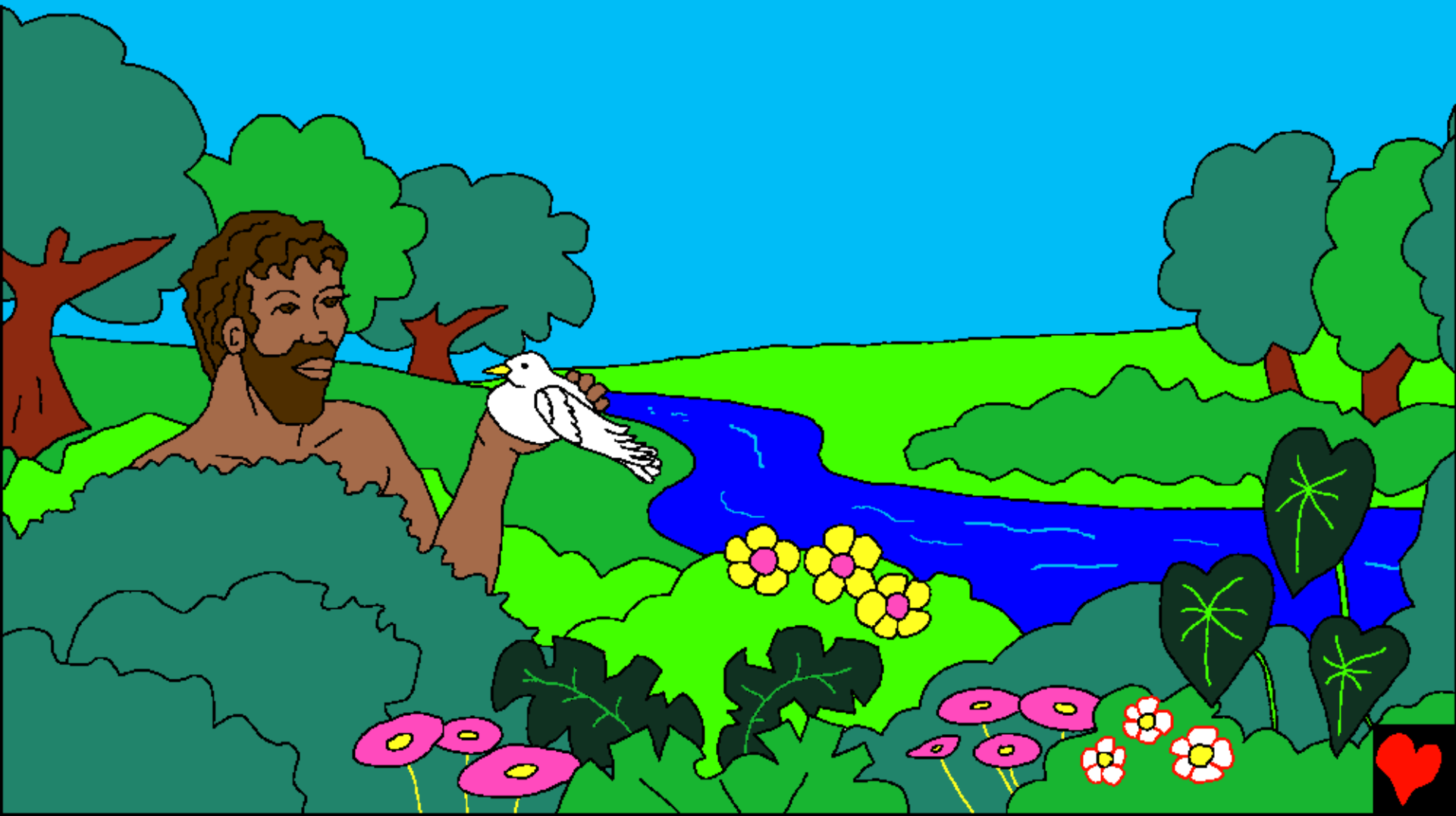
出版社：Bible for Children
www.M1914.org

©2021 Bible for Children, Inc.

許可：　他人に売らない限り　このお話のコピー、又はプリントは、
許可されています。

いったいだれが、私たちをつくったのだろう。聖書、つまり神さまのことばは、私たち人類が　どのようにして　始まったかを教えてくれています。ずっとずっと昔のことです。神さまは、いちばん初めの人をつくり、アダムと名前をつけられました。神さまは、アダムを地の塵からつくられたのです。

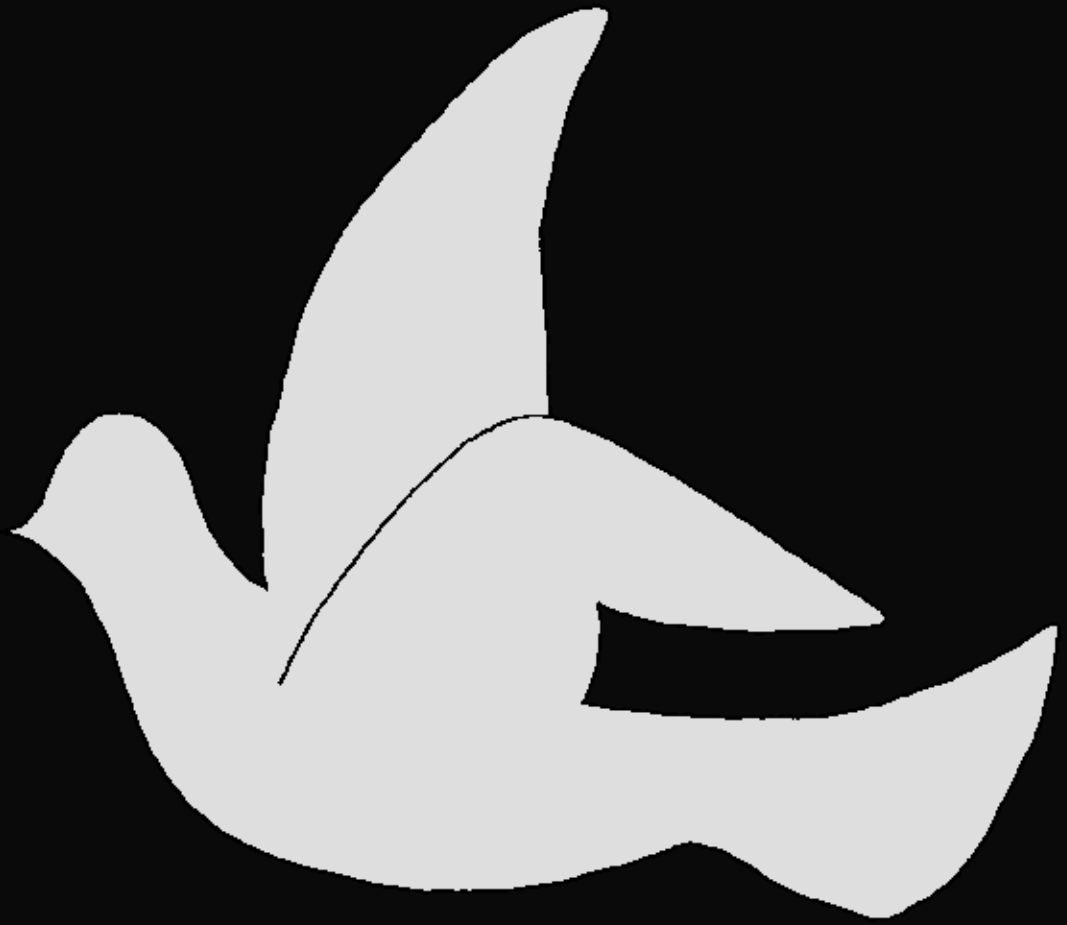
それから、アダムに息を吹きかけて命を与え、生かせてくださいました。アダムは、自分がエデンの園と呼ばれる美しい庭に　置かれていることに気がつきました。



神さまが、アダムをつくられる前のことです。神さまは、すばらしいものでいっぱい満ちあふれている美しい世界をつくられたのでした。神さまは、少しずつ、少しずつ、いろいろなものをつくっていかれました。小高い丘や広い草原、香りのいいお花や高い木々、キラキラした羽の小鳥たちやブンブン飛び回るみつばちさん、元気に泳ぎまわるくじらさんやズルズルはいまわるヘビさんたち。

いちばん初めの時、そうです。神さまが、まだ何にもつくられていなかった時のこと。神さまが　いらっしゃる他は、ほんとうに何もなかったんです。 光 もなければ、水もない。上もなければ、下もない。昨日もなければ、今日もない。ただ、まだ何も始められてない神さまだけが、いらっしゃいました。それからなのです。

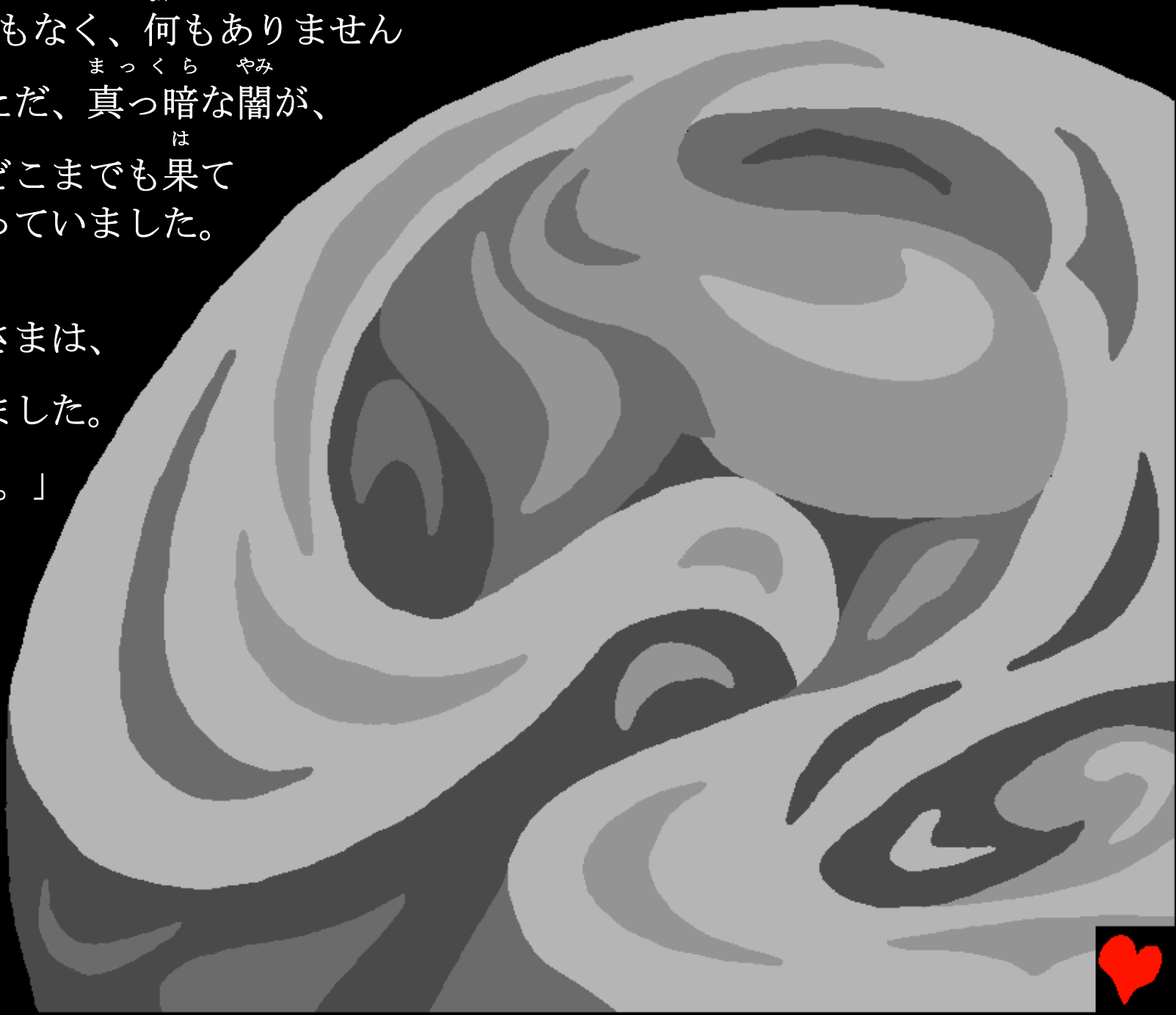
神さまがつくりはじめられたのは。



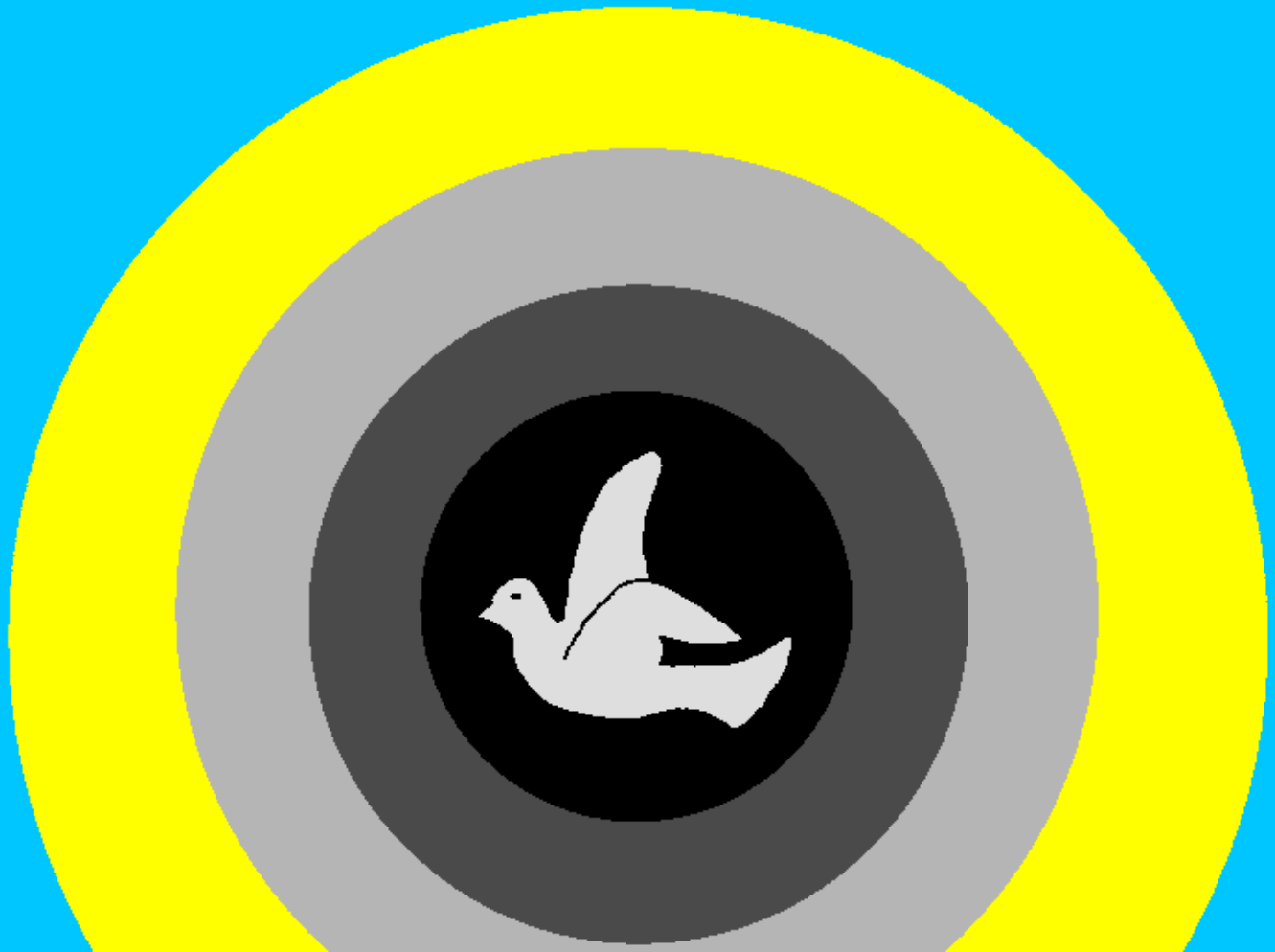
はじ　　かみ　　てん　　ち
初め　神さまは、天と地を　つくられました。

その地は形もなく、何もありません
でした。　ただ、真っ暗な闇が、
どこまでもどこまでも果て
しなくおおっていました。

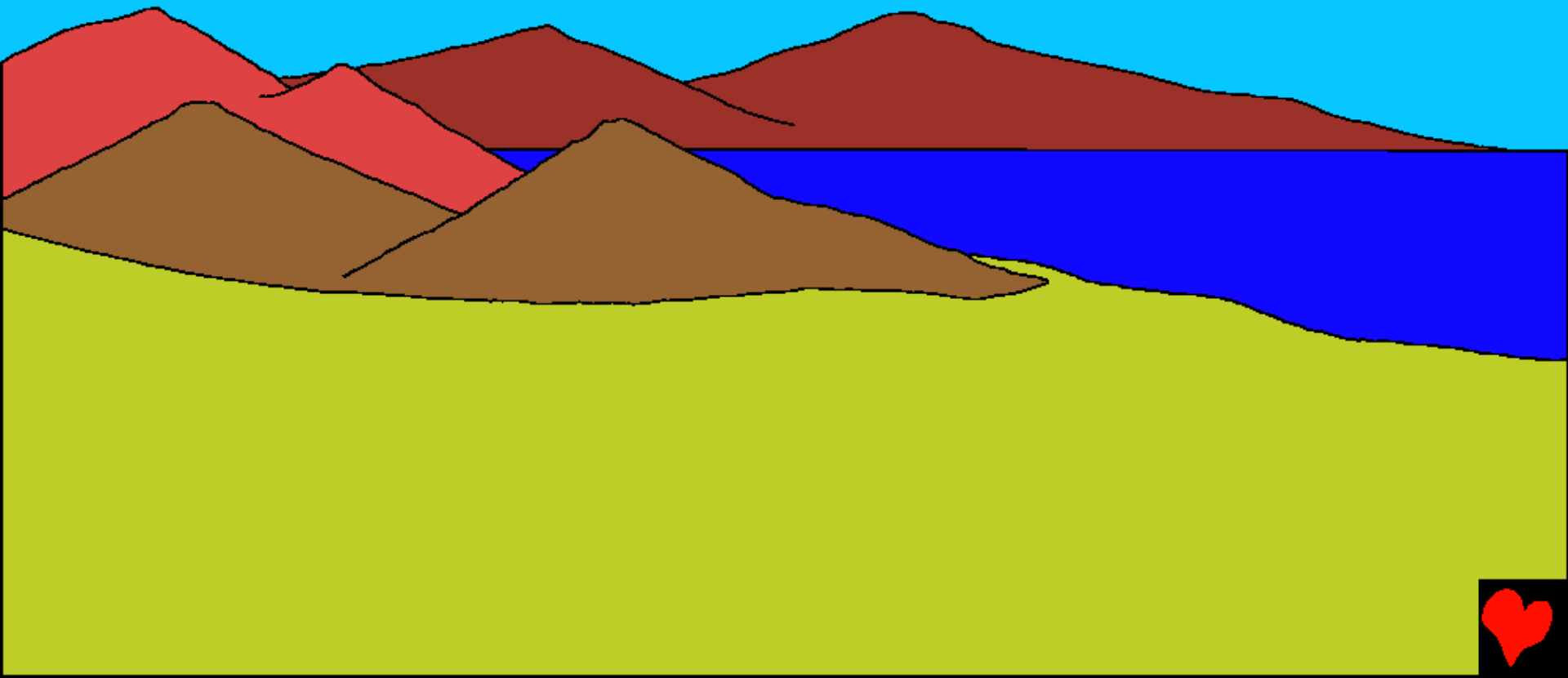
そこで　神さまは、
口を開かれました。
「光、あれ。」
と。



すると、なんとまあ　光(ひかり)が出(で)てきたのです。　神(かみ)さまは、光(ひかり)を昼(ひる)、闇(やみ)を夜(よる)と名(な)づけられました。こうして夕(ゆう)となり　朝(あさ)がやってきました。第一日目(だいいちにちめ)です。



二日目、神さまは水を運んでこられました。それを大空のもとで　きちんと太洋や海や 湖 に分けられ注がれたのです。三日目、神さまは言われました。「さあ、乾いた土地が　現 れるように。」と。そして　そのようになりました。



また、神さまは命令されました。「草や花、そして低い木や高い木が　現れるように。」と。すると、そのようになりました。

こうして夕となり朝 がやってきました。

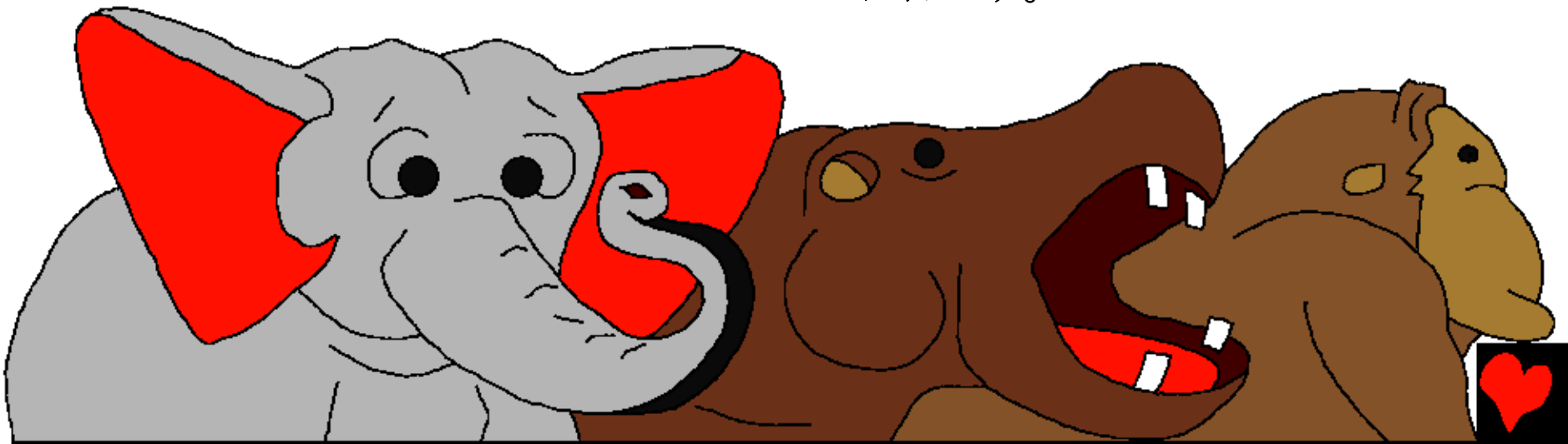
三日目です。

それから　神(かみ)さまは、太陽(たいよう)、月(つき)、数(かぞ)えきれないほどたくさんの星(ほし)を　つくられました。こうして夕(ゆう)となり朝(あさ)がやってきました。四日目(よっかめ)です。

神さまが次に考えられていたことは、海の生き物や魚や鳥たちをつくることでした。

五日目、大きなメカジキや　ちっちゃいイワシのなかまたち、脚の長いダチョウさんやいつも幸せそうにさえずっているかわいいハチドリたちもつくられました。たくさんの魚たちが水のなかでスイスイと泳ぎまわり、またいろいろな鳥たちが　楽しそうに地や海や空を飛びまわることができるようにと、神さまは、いっぱい、いっぱい仲間をつくられたのですよ。こうして夕となり、朝がやってきました。五日目です。

そのあと、神さまはまた口を開かれ、こう言われました。「さあ、みんな生き物は　どんどんこの地においで。わたしがつくろう。さあ、どんどんおいで。」こうして　いろいろな種類の動物や昆 虫、はちゅう類もやってきました。ドシン、ドシンと地面を揺るがすゾウさん、いつも忙しそうなビーバーさんもいます。いたずら好きのサルさんや　のそのそワニさんも。くねくねミミズさんとちょっと気取ったリスさんも。ひょろひょろしているキリンさんに、ゴロゴロのどを鳴らすネコちゃんも。ほんとうに　神さまは、その日にあらゆる種類の生き物をつくられたのでした。こうして夕となり　朝がやってきました。これが六日目です。



さて、六日目のことです。　神さまは、何か他のこともなさいましたよ。そう、何か特別のこと・・・。　今はもう、人をつくるための準備が、すっかりできあがっていました。野には、食べ物が、そして彼に仕える動物たちもいました。

そこで、神さまは、言われました。「さあ、私たちによく似た人をつくろう。そして地のものすべてを　彼に従わせよう。」

神さまは、神ご自身に似せて人をつくられたのです。神さまそっくりにつくられたのでした。

神さまは　アダムに話されました。「アダム、おまえは庭にあるものは、何でも食べていいんだよ。でも、善と悪を教えてくれる知識の木からだけは、食べてはいけない。もし　おまえがその木のものを食べると、必ず死んでしまうんだよ。」

そしてまた、主なる神は言われました。「人が一人でいるのは、よくない。さびしいだろう。私は彼に仲間をつれてこよう。」神さまは、アダムのところに、小鳥たちや動物たちを呼びました。アダムは、かれらみんなに、それぞれの名前をつけてあげました。そんなことができるなんて、アダムはきっと賢かったのでしょうね。けれど、これら鳥たちや動物たちの中には、アダムにぴったりの仲間はみつかりません。

そこで　神さまはアダムを深い深い眠りの中につれて行かれました。そして　ぐっすり眠っているアダムから、あばら骨を一本とって　その骨から女の人をつくられたのです。神さまがつくられたその女の人は、アダムの仲間として　本当にぴったりの人でした。

神さまは、六日間ですべてのものを　つくられました。それから神さまは七日目を祝 福なさって、その日を休みの日とされました。エデンの園では、アダムと彼の妻のエバは　神さまに 従 いながら、ほんとうに 幸 せに暮らしました。神さまは、二人にとって主であり、 養 ってくださる父であり、そして友達でもあったのです。

神さまが、すべてのものをつくられた時のこと

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

創世記 1 章 -2 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

おわり

この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしってほしいと、思っていらっしゃるのです。

神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

けれども、神さまは、あなたをとても愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみがえって、いま生きていらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書３：１６